

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●セレクションセール開催

7月20日(祝・月)と21日(火)、北海道新ひだか町の北海道市場において「セレクションセール」が開催されました(主催:日高軽種馬農業協同組合)。サラブレッド1歳馬299頭(牡222頭・牝77頭)が上場され、落札は269頭(牡199頭・牝70頭)、売却率は89.97%、売却総額は52億5680万円。最高額をつけたのは、牡馬はメジエルダ2025(父サートゥルナーリア/半姉にビューロマジック)で8000万円、牝馬はルピナスリード2025(父キタサンブラック/曾祖母は愛G1馬)で6400万円でした(金額はすべて税別)。

●2026年上半年JPNサラブレッドランキング発表

2026年度の上半期JPNサラブレッドランキングが発表されました(6月30日までの暫定レーティング/単位はポンド)。各部門のトップは、3歳牡馬がロブチェン(119)、3歳牝馬がスターアニス(116)、3歳ダートがフィンガー(116)、4歳以上芝・牡馬がメイショウタバル(123)、同牝馬がエンブロイダリー(117)、4歳以上ダートがフォーエバーヤング(123)となっています。

●海外競馬の発売対象競走が拡大

7月23日(木)付の農林水産省告示第1055号に基づき、JRAが馬券を発売することができる海外競馬の競走(指定競走)が拡大されました。これまで対象だったドバイワールドカップデー諸競走、米ブリーダーズC諸競走、香港カップをはじめとする年末の香港国際競馬、ケンタッキーダービー、英ダービー、キングジョージ、凱旋門賞などG1・32競走に、英仏愛の1000ギニーと2000ギニー、ブリークネスS、ベルモントSといった世界主要G1、さらにはサウジダービーやゴドルフィンマイルなどのG2・G3まで、新たに84競走が追加され、計116競走となります。適用時期は2026年9月5日(土)からで、これら116競走のうち、日本馬が出走を予定し、農林水産大臣による馬券発売認可を受けた競走が発売対象となります。

●鷲頭虎太騎手が引退

鷲頭虎太騎手(栗東・フリー)が7月31日(金)付で引退しました。JRA通算成績は1041戦34勝で、今後は栗東・福永祐一厩舎で調教助手となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●芝の若鮎賞はマカヒキ産駒セイカールトン【各地の2歳重賞】

若鮎賞(7月26日、盛岡、芝1,600m)は、6番手から差を詰めた1番人気のセイカールトン(牡、父マカヒキ)が、直線に入って間もなく抜け出して4馬身差で楽勝。リリーC(7月22日、門別、1,000m、牝馬)は、先手を取った2番人気のセルアウトクラウド(父マジェスティックウォリアー)が後続を5馬身引き離し、新馬戦から連勝しています。

●マロンソレイユが王冠賞で三冠を阻止【各地の主要3歳重賞】

北海道三冠の最終戦となる王冠賞(7月23日、門別、1,800m)は、中国から追い上げた3番人気のマロンソレイユ(牡、父ルヴァンスレーヴ)が、同厩舎の単勝1.2倍で圧倒的人気の二冠馬ゴッドパロックをゴール前で差し切りました。新設重賞の金沢城鼠多門賞(7月19日、金沢、1,900m)は、差のある4番手から4コーナーで先頭に立ったアメジストロード(牡、父トムズデタ)が4馬身差で圧勝、単勝1.7倍の支持に応えてJRA(7戦未勝利)から転入後3連勝を達成。オパールC(7月28日、盛岡、芝1,700m)は、JRAデビュー、愛知を経て岩手に移籍した9番人気の伏兵ローザレイア(牝、父レイデオロ)が2馬身半差で逃げ切り、JRA時代の芝の新馬戦以来となる勝ち星を収めています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1“キングジョージ”～地元の牝馬カルパナが制す

現地7月25日にイギリスのアスコット競馬場で行われたG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスS(3歳上、芝2,390m)は唯一の地元調教馬だったカルパナ(牝5歳、A.ボールディング厩舎)が9頭立ての4番手追走から直線で抜け出して優勝しました。1馬身半差の2着に連覇を狙ったカラダガン。さらに半馬身差遅れた3着に今年の愛ダービー馬ベンヴェヌートチェッリーニ。日本から参戦したマスカレードボールは7着、ヴェルテンベルクは9着に終わりました。勝ったカルパナはG1仏ダービーを制したスタディオブマン(その父ディーブインバクト)の産駒。3歳10月のG1英チャンピオンズフィリーズ&メアズS(芝2,320m)を2馬身差で快勝してG1初制覇。昨年の“キングジョージ”ではカラダガンの2着に終わりましたが、シーズン最後のG1英チャンピオンズフィリーズ&メアズS(芝2,390m)を2馬身半差で制して連覇を果たしました。今年は始動戦となった5月のG3アストンパークS(芝2,400m)を制した後、6月のG2ハードウィックSでの短アタマ差2着(勝ち馬は2024年のG1香港ヴァーズ優勝のジアヴェロット)を経て、ここに臨んでいました。鞍上のC.キーン騎手、管理するA.ボールディング調教師とともに初制覇です。